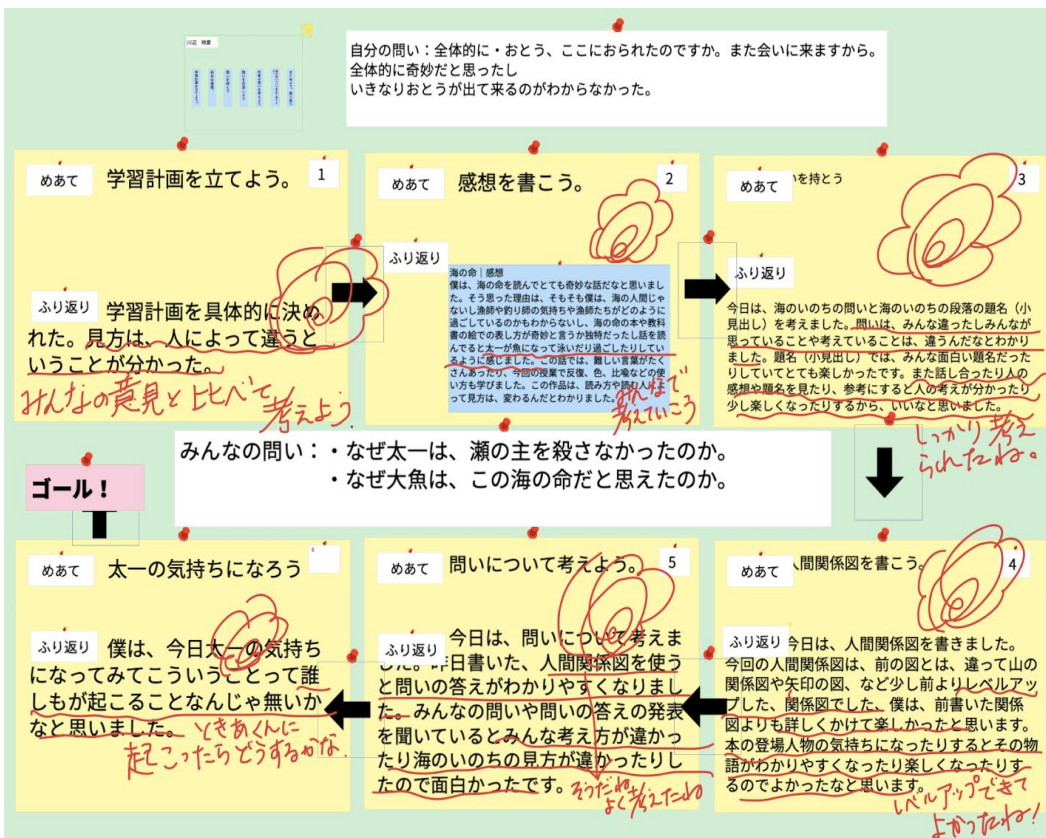


リーディングDXスクール事業【実践事例】

京丹波町立和知小学校（京都府）【指定校】

【取組内容】「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実 めあてとふり振り返り

児童1人1人の「問い」を学習の「めあて」にすること



これまでは、教師が学習のめあてを決めていた。しかし、学習者の児童にとって、学習内容に対する「なぜ？」は違う。1人1人がもつ「なぜ？」こそが「問い」とあると捉え、それを「めあて」にすることにした。そうすることで、児童1人1人の主体的な学びをスタートさせることができるようになった。

また、学習支援ソフトやteamsを通して、他者参照が可能となり、児童のめあてを考える際の、有効な手段の一つとなった。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

京丹波町立和知小学校（京都府）【指定校】

【取組内容】「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実 めあてとふり振り返り

児童1人1人の「問い」を学習の「めあて」にすること

番号	めあて	1/14 自己評価	ふりかえり
1	今日は、三学期最初の理科・司会で今日の学習「冬の植物はどうなっているのかを観察し、まとめよう」	今日学んだ事は、秋に枯れた桜は冬に目（つぼみ）がついていて春に咲く。あと一年中葉をつける木と、付けない木があると知れた。	47 61
2	冬の植物を観察しどうなっているのかを観察しまとめよう。	動画を見て鳥と植物で鳥は、住んでいるところから他のところに行く。植物、桜はきに実ができるし実の中は、緑と茶色が入っていることが分かりました。	70
3	今日初めてやるので頑張って冬には植物がどのようになっているのかをたくさん観察してその後にとても良い実験になると思っています。	冬の桜🌸は、芽になったてなかもまだ緑でびっくりしました。	62 30
4	今日は、植物はどうなっているのか考えます。わたしは、きちんと、じかんをみてやりたいなとおもいました。あと、まとめて時間があったら、夏の植物のちがいをした	今日は、冬の植物はどうなっているのかか	

また、めあてからふり振り返りまで一貫した学習を意識して、めあてに対するふり振り返りを丁寧にすることで、何を学んだのか・次の学びに対する「問い」は何か、などを表現することができた。

ふり振り返りにおいても、他者参照させることで、友達がどのような学びをしたのかが容易に交流できるようになった。教師にとっても、ふり振り返りから次の授業をどのように組み立てていくかを検討する材料になる。